

## 令和4年度 第2回理事会議事録

令和4年10月12日（水）午後7時00分、東京都港区赤坂一丁目2番2号に所在する日本財団ビル4階及びオンラインにおいて、理事会を開催した。本理事会はWeb会議システムを利用して開催されたため、出席者の映像と音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状況であることを確認した。そして、議長は、次のとおり定足数にたる理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数	14名
本日の出席理事数	10名
監事総数	2名
本日の出席監事数	1名

出席者理事：坂井一也、富岡成一、白石三重子、井上憲俊、時耕佐知子、  
鹿島沙奈絵、大野洋平、山本道雄、石堂典秀、龍信之助、

出席監事：高松政裕

なお、時耕佐知子を除く役員は、Web会議システムを利用して出席した。

### 第1号議案 2025年1月に開催予定の全日本選手権の出場枠について

議長は、令和4年9月に日本卓球協会理事会が開催され、推薦出場枠として、肢体・知的・聴覚それぞれ男子1名、女子1名の推薦枠が承認されたこと報告した。当協会として出場枠について承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

### 第2号議案 令和5年度選手選考基準について

令和5年度選考基準について、「3国際大会派遣の選考基準（2）国際大会派遣選手選考合宿参加基準 イ」、「5国際大会派遣選手選考合宿の成績基準 ウ」の内容の変更について報告した。

若干の質疑応答の後、議長がこれらの承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

### 第3号議案 組み合わせ基準について

2019年11月開催の理事会にて提案があった組み合わせ基準について、承認を得られていなかったため、改めて提案した。

2022年度より大会名を「国際クラス別パラ卓球選手権大会」より「全日本パラ卓球選手権大会（肢体の部）」および「ジャパンオープン・パラ卓球選手権大会」を「全日本オープンパラ卓球選手権大会（肢体の部）」にそれぞれ変更し、組み合わせの手順等について詳細に明記した。

若干の質疑応答の後、議長がこれらの承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

### 第4号議案 国内クラス分け体制の変更について

現在、年2回の大会時にクラス分けを行っている。事前に確認を行い暫定クラスでの大会出場となっているが、日本代表選考も兼ねた大会でもあるため、大会前の8月もしくは9月頃をめどにクラス分けを実施するのが現実的ある。

事前にクラス分けを受けた選手・すでにクラス分けを行った選手のみが「全日本パラ卓球選手権大会」に出場できるという決まりを設け、大会前に認定を行う。

若干の質疑応答の後、議長がこれらの承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

### 第5号議案 団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査について

ガバナンス担当より、9月に実施された面談について報告があった。

指摘された内容について改正・規程が整備されていない規程について、高松政裕氏が理事へ説明を行った。女性理事のバランス、任期等（定年）の目標を設定するなどの議論を行った。ガバナンス担当で再度検討し、次回の理事会までに提案する。

若干の質疑応答の後、議長がこれらの承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

### 第6号議案 ジャパンオープン2023開催について

2023年8月30日から9月2日（東京体育館）で実施予定のジャパンオープンについて、実行委員会のスケジュールおよび予算書（案）の説明があった。

若干の質疑応答の後、議長がこれらの承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

#### 第1号報告事項 第1回ダブルス交流大会について

事務局より、大会についての報告があった。

悪天候の中、初めて実施した大会は、多くの選手が参加し、新しい種目の周知・技術指導も実施することができた。継続的に実施して、車いす選手の競技環境を整えていきたい。

#### 第2号報告事項 第14回全日本パラ卓球選手権大会について

申込状況を（参加人数200名）の報告、組み合わせの掲載についての日程を報告した。協会スタッフの参加確認についての連絡も行った。

#### 第3号報告事項 普及啓発事業（岡山）報告について

普及委員会より10月9日（日）に実施した普及啓発事業（岡山）について報告があった。参加人数47名、協会スタッフおよび岡山市卓球協会等の協力もあり無事に実施することができた。参加者へのアンケートも実施した。集計を行い、今後の課題等を検討しながら次回の普及啓発事業につなげたい。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後8時00分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第35条第2項に基づき出席者代表理事が次に記名押印する。

令和4年10月28日

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会 第2回理事会

代表理事 坂井 一也

